



質屋アシストテレビCM抜粋

- 本社所在地：鹿児島県鹿児島市
- 事業概要：質屋業・リユース業の運営
- 常時使用する従業員：24名  
(グループ全体・2026年1月時点)
- 現在の売上高：12.2億円  
(グループ全体・2025年5月期)
- 法人番号：3340001027294
- Web：https://assist-grp.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
湯田 秀三郎

### 挑戦することでしか、たどり着けない未来がある。

新たな質屋・リユース業  
自由で柔軟な視点で、伝統ある質屋業、リユース業の新たな可能性を生み出す。  
テクノロジーを活用することで、“質屋・リユース業”のビジネスをアップデートできないか？  
シンプルに言うと「質屋・リユース業のDX」に挑戦する企業です。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

株式会社アシストおよびアシストホールディングス株式会社は、2025年にホールディングス化を実施し、経営管理体制の高度化と意思決定の迅速化を図る。そのうえで、2036年にグループ売上100億円の達成を目標として掲げ、多店舗展開を軸とした事業拡大を加速させる。成長戦略としては、既存事業の強化と新規出店を両輪とし、年率20%程度の持続的成長を目指す。

### 課題

- ・出店スピードと再現性の確保
- ・採用活動および人材育成の強化
- ・在庫および資金回転のコントロール
- ・DX・AIを前提とした成長モデルの構築

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

成功店舗モデルの標準化による多店舗展開を加速するとともに、DX・AIを活用した鑑定支援、在庫管理、価格最適化を推進する。さらに、非店舗型ビジネスやBtoB・EC領域を拡大し、人員増加に依存しない持続的な成長を実現する。

### 実施体制

ホールディングスは成長戦略および資金管理を担い、現在は各子会社で行っている人材育成やDX推進についても、今後は段階的に機能を集約・連携させる。  
各事業会社は店舗運営と営業活動に専念し、状況を定期的に共有しながら、迅速な意思決定と改善を行う体制を構築する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現の目標とグループ概略

当社グループは、2036年にグループ売上高100億円の達成を中長期目標として掲げている。2025年のホールディングス化を起点に、アシストホールディングス株式会社は不動産賃貸業を担い、グループ全体の成長戦略および資産形成を支える中核会社とする。2026年10月には宮崎県へ進出し、以降も店舗用不動産の取得を継続することで、安定的な賃貸収益の確保と出店基盤の強化を図り、2036年には同社単体で1億円の売上を見込む。

一方、株式会社アシストは質屋・リユース事業を主力とし、店舗展開による売上拡大を推進する。質屋アシストは、2028年までは年1店舗、2029年以降は年1～2店舗、2032年以降は年2～3店舗の新規出店を計画し、2036年までに25店舗体制の構築を目指す。DX・AIを活用した鑑定、在庫管理、運営効率の向上により、収益性を確保しながら規模拡大を進め、2036年には同社単体で99億円の売上を計画している。両社の役割分担を明確にすることで、持続的かつ安定したグループ成長を実現する。

